

様式例 13 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成27年6月12日

評価者：健康福祉局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市養護老人ホーム恵楽園
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務の概要	・「家族がいない」などの環境上の理由及び経済的な理由により、自宅で養護を受けながら生活することが難しい方に、適切な生活支援を行う措置施設（対象：65歳以上で経済的及び環境的な理由により在宅生活が困難と認められる方）
指定管理者	名称：社会福祉法人川崎聖風福祉会 代表者：理事長 磯上 充 住所：川崎区池上新町3-1-8 電話：044-288-5401
所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。	これまでの施設の運営状況を評価、課題の洗い出し、課題解消のための取組として、「恵楽園運営検討プロジェクト」を立ち上げ、利用者数の向上や権利擁護など、利用者支援を最優先に考えた施設の効果的な運営見直しを実施し、併せて、施設の機能等について、周知に努め、緊急ケースの積極的な受入などのニーズへの迅速な対応、利用者の増加を達成していることは評価できる。 また、満足度調査、嗜好調査等を実施し、サービスに反映するよう努める姿勢が認められ、さらには、今後の養護老人ホームのあり方についても、自主的に検討を重ねるなど、積極的な姿勢が評価できる。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	事業計画等に基づく事業目的を達成し、適正に施設運営を行っている。
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	身体拘束ゼロを基本としたケアを実施しているとともに、事故やケガの発生に対しては、原因究明、再発防止に向けた取組等、迅速な対応を行っている。
4	更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。	利用者のニーズを可能な限り施設の運営に反映する姿勢、施設の効果的な運営に向けた積極的な取組、また、地域との良好な関係等について、今後もこの水準を維持、継続、あるいは向上に向け進めていただきたい。
5	非公募更新のための条件を満たしているか（該当施設のみ）	評価としては優良であり、非公募更新のための条件を満たしている。

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	四半期毎に施設において実施のセルフモニタリング結果を受け、その都度評価を行い、適正な施設運営水準の維持、継続に努めている。
2	制度活用による効果はあったか。	（サービスの向上等） ・養護老人ホームは、市内に2施設整備（平成27年6月1日現在）しており、施設の運営形態については、民設民営が1施設、公設民営（指定管理施設）が1施設となっている。
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	・本市が定める基準に基づく措置費及び利用者負担分を考慮し指定管理料として算出 ・施設及び設備において経年劣化が顕著に現れており、長寿命化も考慮した修繕等の対応が求められる。
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	市内に整備の養護老人ホームの運営形態の現状（民設民営又は公設民営）については、今後一定の整理が必要と考える。

4. 今後の事業運営方針について

養護老人ホームについては、措置施設として、緊急受入を含め、必要な機能であるため、今後も社会資源として効果的かつ機能的に運営していくことが求められる。
一方で、市内に整備の特別養護老人ホームの運営形態の現状（民設民営又は公設民営）については、今後一定の整理が必要と考える。